

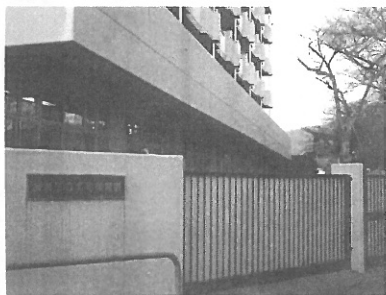
# 明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会/陽光保育園/板橋第十小学校学童クラブ 発行日 2010年3月27日  
編集 「明日にむかって」編集委員会 住所 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

61号

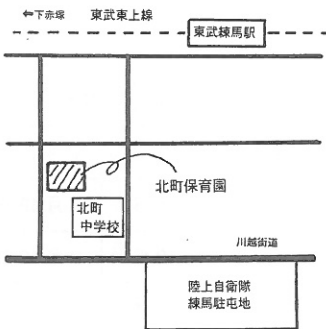
2月21日「板橋子育てのつどい2010」が開催されました。午前は参加型の全体会やグループ活動、午後は、ペーゴマ他いろんな遊びが用意された子どもたちのための遊びの広場や、プロの保育士による保育室もあり、大人たちはその間、分科会でお勉強します。盛りだくさんのこの企画を運営しているのは、子育てを応援する完全ボランティアの大人たち。その大人たちが楽しんでいるのがいい！ だから子どもも楽しめる！ 3歳の子がカブラ（魔法の板）を積み上げるのに夢中になり、お母さんが「ほかのところにも行こうよ」と誘っても、「行かない」とはっきり主張し、遊び続ける、小学校高学年の女の子3人が、そのカブラでお城づくりに夢中になり、5時間も遊び続ける。安心して遊び続けることのできる雰囲気がこの「つどい」にはあるのです。(T・R)

## ●練馬区立北町保育園●



住所 練馬区北町3-3-14  
(東武東上線 東武練馬駅より徒歩10分)  
電話 03-3933-6497 FAX 03-3933-6452

- 【施設概要】**
- ・開設 1961(昭和36)年11月
  - ・敷地 1,332.78㎡ ・延床面積 601.98㎡
  - ・構造 鉄筋5階建ての1階部分(都営住宅併設)
- 【事業内容】**
- ・児童定員……0歳児(8カ月以上)9名、1歳児11名、2歳児13名、3歳児15名、4歳児15名、5歳児15名、計78名(要支援児は原則3歳児から、3名まで受入れ)
  - ・職員配置……園長1名、保育士17名、看護師1名、栄養士1名、調理3名、事務1名、用務1名、時間契約職員12名、計37名
  - ・延長保育……あり
  - ・園庭開放……毎週水曜日
  - ・ふれあい給食……年5回(要予約、有料、各回5組10名程度)
  - ・子育て相談……毎月第3水曜日



高田礼子：茨城県生まれ。1985年より保育士として陽光保育園勤務。2001年より同園園長、社会福祉法人陽光会理事。

昨年4月から一年間の「運営業務受託に向けた引き継ぎ業務」を終えて、今年4月から社会福祉法人陽光会の職員37名(正規25名、時間契約職員12名)が、力を合わせて、練馬区立北町保育園の運営をしていきます。

## 「ともにつくる」保育園をめざして

練馬区立北町保育園園長(2010年度) 高田 礼子

子どもたちが楽しく生活できる保育園「保護者が安心して預けられる保育園」「職員も元気で働ける保育園」を北町保育園でも運営の柱にし、精一杯取り組んでいきます。私は、茨城県日立から東京に出てきて、陽光保育園で保育士として16年、園長として9年間勤務しました。園庭は砂場だけの小さな保育園ですが、ここに集まってくるみなさんのエネルギーは強く大きく、どんな困難なことも乗り越えてしまう不思議な力が宿っています。それは「子どもを主人公にした保育園運営が脈々と引き継がれ、子どものために大人たちが手をつなぎ、ともに歩む努力をしているからではないかと

思います。陽光保育園で学んだ「子ども自身が成長するエネルギーを持ち、それを支え引き出してあげるのが大人の役割」であることや、「子どもが生き生きと楽しく過ごすためには、大人たちが信頼しあうことが大切であり、そのためには率直に話し合い、理解し合う努力をすること」等を、しっかりと胸に収め、新しく運営する北町保育園でも実践していきたいと思っています。この地域、この陽光保育園での25年間、お世話になった皆様、ありがとうございます。これからも子どもを真ん中に、保護者とともに、職員とともに、地域とともに、「明日にむかって」歩んでいきます。

## 社会福祉法人陽光会は、この4月から3施設を運営します。



陽光保育園は、戦後もないころ、母の会が中心になって誕生した保育園です。産休明け保育、障がい児保育実現のために園舎を改築し、社会福祉法人陽光会を設立しました。その後、理事会、職員、後援会、保護者がひとつになって、地域の要望(延長保育・アレルギー児対応・学童クラブ運営受託)に応える努力をしてきました。今、行政が公立保育園の運営を「民間の活力で」と委託を進め、一方で現行の保育制度が崩壊されつつある状況になっています。公的責任が明示されている今の保育制度を守るのと同時に、受託法人の役割もあることを自覚

## ないところから作り出す 歴史から学んで

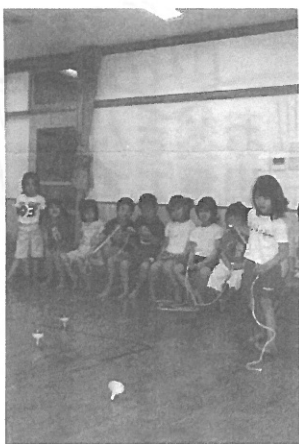
陽光保育園園長(2010年度) 徳留 人美



徳留人美：北海道生まれ。1984年より保育士として陽光保育園勤務。2004年より社会福祉法人陽光会理事。

まっすぐ前を見つめる、曇りのない澄んだ目、後退することを知らない子どもたち、こんなにはばらしいものが他にありません。私は、陽光保育園で保育士として働き始めて今年で25年になります。その前は、北海道の小さな田舎町の公立保育園で働いていましたが、陽光保育園に来て、その保育水準の高さに目を見張りました。その半面、あまりにスペースが狭いことに戸惑いもあればありました。

## 5歳児クラス～卒園に向けた取り組み



お正月を迎えるべく、5歳児クラスの子どもたちは、卒園式に向けてコマまわしに取り組みます。また、埼玉県高麗の佐島牧場で引き馬の経験を、「荒馬」つくりにも取り組みます。卒園式で「荒馬踊り」を踊るからです。2月の民族歌舞団「荒馬座」のミニ公演では、荒馬座の座員のみなさんと一緒に「荒馬踊り」を楽しみ、くっつき気持ちが盛り上がりました。



上：コマ回しの練習は目を追うごとに熱が入ります  
下：荒馬座ミニ公演で座員と一緒に荒馬踊り

陽光保育園は徹底して子どもを主人公にした保育を考え、努力してきた保育園ですが、都心からはずれているとはいえ、やはり東京です。たくさんの制約があります。車の多い道路をたくさん歩かなければ自然の豊かなところに行き着くことはできません。もともと自然環境に恵まれたところで保育がしたいと悩んだこともありましたが、でも、目の前にはたくさんの子どものたちがいます。この地だからこそ大事にしたい、大事にしなければならぬ保育があることを子どもたちの姿を見ながら実感しました。昨年の創立60周年を機に、いつの時代も陽光保育園の周囲には、子どもたちのことを必死で考え行動する大人の集団があったことを知りました。これが私たちの財産です。子どもたちの育つ条件を切り開く最高の力だと思っています。自然がなかつたらリヤカーでどこまでも走り、条件を切り開く、そんな歴史に学び、困難を乗り越えていきたいと思っています。

- 今、子どもたちの「貧困」や「虐待」など、次々と報道される悲しい事件を目にする度に、何か救える手立てはなかったのか
- ◆陽光保育園後援会・春の交流会  
とき 4月29日(祝) 11時～14時  
場所 板橋区平和公園  
(上板橋駅北口徒歩5分)  
ときわ通り・教育科学館そば)  
ときわ通り・教育科学館そば)  
参加費 大人 500円(新会員無料)  
子ども 無料
- \*新会員の方の歓迎会もかねた交流会です。焼肉、焼そばなどを作ります。皿、箸、コップ、おにぎりなどをお持ちください。春の一日、おおいに食べ、語り合い、交流しましょう。
- ◆陽光保育園後援会・総会  
とき 5月21日(金) 19時～  
場所 陽光保育園ホール
- ◆陽光保育園 夏のバザー  
とき 7月4日(日) 10時～14時  
場所 陽光保育園

### ごあんない

と胸が詰まります。どこで生まれても子どもはみな、友達と手をつないで遊びのびと走り回り、健やかに育つ権利があります。そのような環境を保障することが大切だと信じています。生きづらさのある時ですが、皆さんと力を合わせ、本当の意味で共同の子育てを進めていきたいと思っています。4月から陽光保育園の園長という重職につきまします。どうかよろしくお願いたします。

二人だけのきめポーズ — 4歳児編

ときどき思いもよらない姿を見せてくれる子どもたち。今回もそんな子どもたちの姿をご紹介します。4歳児編です。

「お助け鬼」が大はやり

4歳児クラスでは今、「お助け鬼」で盛り上がりつつあります。「お助け鬼」とは、鬼が3、4人いて、鬼に捕まったら牢屋に入られ、味方にタッチしてもらったとまた逃げられるというルールで遊んでいます。牢屋は地面に円を描くなどして決めます。



もほとんどなく、いつも助け役のT君とR君。この日も持ち前の俊足で鬼をかわし、何度も捕まった子を助けにいらしてました。



どちらかが味方を助けると、二人で駆け寄り、お互いの右腕と右腕を合わせ、二人だけのポーズをとっています。言葉はなくとも、「よくやったぞー!」「おうー」という心の通い合いが聞こえてきそうです。

そんなシーンが何度か見られましたが、そうはいっても、5歳児と入り交じった「お助け鬼」。そうそううまくはいきません。

5歳児のなかで4歳児ががんばる！ 俊足のT君も、鬼に5歳児がいるとなると話は別なのです。いつもは助けにいく側なのに、隠れながら逃げるなど、いろいろ作戦を考えたのに捕まってしまうことも、「はやくたすけてくれー!」と大きな声を出し、やきもきしているのがわかります。するとそこへR君が、「しー!」と人差し指を口に当て、牢屋を見張っている鬼に見つからないように、腰をかかめ、偲び足でそーっと助けに近づいていきました。

ようこうほいくえんの 一時保育

◆こんなときご利用ください
・保護者の就労・求職・通院・職業訓練・通学・看護・介護
・保護者の傷病・被災・出産・冠婚葬祭など
・保護者の子育て不安・リフレッシュなど
・育児相談、健康診断等でお子さんが保育園での保育が必要と認められたとき

建築資金
◎寄付のご協力ありがとうございます。
(2009年12月16日～2010年3月10日/順不同・敬称略)
片山高司、高久マサミ、山本卓三
財政活動(父母の会・後援会・職員・理事会の皆さん)
◎2009年度報告～社会福祉法人陽光会・建設財政連絡会より
・寄付金 21件 804,230円
・財政活動
リズム講師派遣 46,600円 Tシャツ販売 192,400円
食品販売 66,700円 パザー収益 84,577円
(土地購入借入金120万円返済差引後)
2009年4月1日～2010年3月10日の寄付金、財政活動の合計は1,194,507円となりました。皆様のご協力、ご支援に心から感謝いたします。財政活動のTシャツ販売、キムチなどの食品販売、リズム講師派遣等は引き続き行います。今後とも、ご協力のほどよろしくお願いたします。
◎寄付のお願い(1口5000円/何口でもけっこうです)
下記口座に振り込みお願いいたします。領収書が必要な方はお書き添えください。寄付金控除の対象になります。
郵便振替口座 00140-0-260468 名義 陽光保育園建設委員会

シベリア抑留後、北朝鮮へ移送
— 極限状態のなかで生き延びる
野口 富久三
シリーズ 戦と私
1924年(大正13)年、5人兄弟の3番目の子として生まれた私は、1944(昭和19)年12月に20歳で入隊。1週間の仮入隊後、中国東部に通信兵として配属された。日中は厳しい軍事訓練、夜は通信兵として特訓。暗号と通信技術の習得に半年ほどかかった。昼間の訓練に疲れ、夜になると居眠りするごもしばしばで、教官に殴られたり、角棒で叩かれることなど日常茶飯事だった。そのうちに戦局は敗色が濃厚になり、ばかげた自爆の訓練も行われるようになった。
そんななか、内地(日本本土)への帰還命令が出たのは1945年6月だったが、貨車に乗せられて移動中に旧ソ連軍が侵襲してきた。私たちは貨車から降りて南へと歩き、ようやく本隊と合流した8月19日、終戦を知らされ、武装解除となった。地獄を見たのはこのあとのことだ。旧ソ連軍の捕虜となり、凍結したアムール川を徒歩で渡り、貨車に乗せられてバイカル湖近くのチュレムホーボ収容所に入れられたのは11月も末のことだった。
そこは極寒の地で、冬は氷点下30～40度にもなる。食事は黒パンと、ほんのわずかししか具の入っていないスープくらいで、石炭掘りの重労働にかりだされた仲間が次々と死んでいった。私は腕をかわれて理髪師として働いていたため、なんとか生き延びることができた。
翌年7月、祖国へのダモイ(帰還)が始まった。貨車に乗せられ、ナホトカで船に乗せられた。ようやく日本に帰れると喜んだのもつかの間、私たちが到着したのは現北朝鮮の清津だった。日本の緑の山々ではなく、大陸特有のはげ山を目にしたときは、「捨てられたのだ」と絶望的になった。ソ連の収容所での身体検査の結果、「病弱」と診断された人はみな、労働力にならないからと、当時ソ連が占領していた北朝鮮に送られたのだ。私たちは防空壕で雑穀や草を食べて餌をしのいだ。極限状態の中で、ここでも次々と仲間が死んでいった。
12月、ようやく私たちは引き揚げる船で帰国できた。帰国後も、「シベリア抑留者」というだけで、いわれない差別を受けた人は多い。シベリア抑留者は約60万人、そのうち北朝鮮移送者は2万7000人とされる。しかしいまだに抑留の全容は明らかになっていない。私たちの労働賃金は支給されないまま、日本政府は「日ソ共同宣言」によって、旧ソ連およびロシアへの補償請求権を放棄した。徴兵され、抑留された人たちに、政府は責任をとって補償すべきである。抑留された人たちはみな高齢で、もはや一刻の猶予もない。(板橋区在住/85歳)

親子でいっしょにあそぼう
陽光保育園では、親子で参加できる広場を月1回設けています。2010年度は、陽光保育園の子どもたちが日頃遊んでいる「砂遊び」と「リズム遊び」を主に計画しました。公園ではできない遊びが体験できます。気軽に遊びにきてください。無料です。
※参加ご希望の方は当日の3日前までに電話でお申し込みください。
場所 陽光保育園
(お申し込み・お問合せは ☎ 3956-1068 へ)
時間 午前9時30分～11時(赤ちゃんは10時30分まで)
対象 0歳児～就学前のお子さんと保護者
発達に障害のあるお子さんも大歓迎です
\*タオルと着替えをご持参ください。
\*0歳のお子さんは、室内にて、赤ちゃん体操やあやし遊びなどでゆったり過ごす予定です。
2010年度/年間の予定
4月22日(木) 5月13日(木) 6月17日(木) 7月15日(木)
8月19日(木) 9月16日(木) 10月14日(木) 11月18日(木)
12月15日(木) 1月13日(木) 2月10日(木) 3月10日(木)
9月:看護士が「健康」について相談を受けます。
10月:栄養士が「食」について相談を受けます。
保育園が大好きな子どもたち
私は、4歳の寛人と2歳の未玲の父です。私の実家は岩手県で、兼業農家だったため、小さいときから畑の手伝い、田んぼの手伝いなどをしていました。
それだけでなく、母親から、何かひとついいから毎日コツコツと続けることが大事だと言われ、食事の後片付けを手伝っていました。
寛人と未玲に今、その要求をしても難しいかもしれませんが、小学校に上がるころまでには、毎日続けて何かひとつやっつけてほしいというのが、私の願いです。
子どもは親を見て育つと思いますので、自分たちもしっかりし、要求するだけでなく、自分でやってみせ、子どもが自信をもてるような環境を作ってあげたいと思います。
寛人と未玲は、毎日、朝起きると、「早く保育園に行こうよ」と、私たちをせかします。それが、親として、とても嬉しいです。これからも、保育士さんやたくさんの方の友だちを大切に、保育園生活を送ってほしいと思っています。
(3歳児クラス・寛人、1歳児クラス未玲の父 金直章)